

## 令和4年度中津市総合教育会議議事録

日 時：令和5年2月3日（金）14：00から

場 所：中津市役所4階 研修室

出席者：（市長部局） 奥塚市長

（教育委員会）中山委員、久恒委員、横松委員、本田委員、粟田教育長

事務局：総務部長、教育次長、学校教育課長、企画観光部長、総合政策課長

耶馬溪支所長、同支所地域振興課長、総務課主幹

（当日発言者を記載）

### ○司会（総務課主幹）

ただ今から、令和4年度中津市総合教育会議を始めます。初めに、奥塚市長よりごあいさつを申し上げます。市長よろしく申し上げます。

### ○市長

皆さん、こんにちは。

本日は令和4年度中津市総合教育会議を招集いたしましたところ、委員の皆様には何かとお忙しい中ご出席いただき誠に有難うございます。

また、平素より中津市の教育の充実・発展のためにご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

本日開催いたします「総合教育会議」は、教育委員会と首長が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを可能とすることを狙いとしております。

中津市ではこれまでも、教育委員と市が連携を図りながら教育行政を進めてきているところであり、本日は「外国人の実態と外国人児童の教育について」や「ICT教育の現状と今後の課題について」の協議・調整事項がございます。

委員の皆様には本日の「総合教育会議」が、有意義な会議となりますよう、ご理解とご協力を賜りたいと存じます。

それから、その他として、耶馬溪B&G海洋センター（やばすぽ）の改修について、紹介及び情報共有をさせていただきたいと考えております。

以上で冒頭にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

### ○司会

それでは、次第3の協議・調整事項に移ります。ここからは中津市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づき、市長が議長として進めさせていただきます。市長よろしく願いいたします。

○市長

それでは、中津市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づき、議事を進めさせていただきます。

本日は協議・調整事項といたしまして、2点議題があります。1番目は「外国人の実態と外国人児童の教育について」となっております。関係部課長から説明をお願いします。

○総合政策課長

総合政策課です。それでは、お渡しした資料に基づきご説明いたします。協議・調整事項の1「外国人の実態と外国人児童の教育について」です。

以降、中津市の外国人居住者の状況、外国人居住者向けの支援、今後予想されること、について説明。

○学校教育課長

学校教育課です。次に、「外国人児童・生徒の教育について」、ご説明いたします。

以降、日本語指導を実施した児童生徒数の推移、日本語指導を受けるまでの流れ、日本語指導員の役割、について説明。

○市長

ただいま事務局より、「外国人の実態と外国人児童の教育について」の説明がありました。それでは、委員の皆様、ご意見等ありませんか。

○横松委員

先程の中津市の外国人居住者の状況のなかで、在留資格別内訳のなかの「特定活動」の区分について、本国情勢による緊急避難措置など、とありますが、その説明をお願いします。

○総合政策課長

もともとは経済連携協定に基づく労働者や、ワーキングホリデーを指していましたが、近年はミャンマーの情勢を踏まえて、緊急避難措置としてミャンマー人の居住を認めていることから、この区分の数が多くなっているという実情があります。

○中山委員

外国人人口は年々増加していますが、将来にはどのくらいまで増える予想をしていますか？

○総合政策課長

この件につきましては、具体的にどのくらいという数値をお答えするのは難しいのですが、企業の人材不足の状況や、労働条件、各国の政治情勢、さらには政府の水際対策の緩和等により、今後まだ増えると予想されます。

○久恒委員

低学年の保護者へのサポートはどうなっていますか。

○学校教育課長

低学年に限ったことではないですが、父または母のどちらかが日本語を話せる家庭は、さほど支援を必要としまませんが、両親どちらも日本語が話せない過程にあっては担任が、場合によっては指導員と一緒に家庭訪問等を通じて、学校の状況等をお伝えしています。また、プリントにもルビを振るなどして、色々と支援を工夫している状況です。

○教育長

「外国人居住者向けの支援」の項目でご説明した際に、日本語教室「あい♡ことば」というものがあります。これは、社会教育の公民館事業で行っており、豊田公民館で毎月1回、小学生とその家族を対象として実施しています。日本語以外にも、日本の生活に関わることや日本の行事等について、一緒に体験したりしながら進めています。だいたい20名程度が参加していると聞いています。そのなかで、普段の生活の困りや日常会話のサポート等を行っています。

○横松委員

以前、学校訪問の際に外国人の子供たちに日本語を教えていたことを覚えています。そこで、各学校の児童の習熟状況がわかれば教えてもらいたいのですが。

○学校教育課長

個々人で相違があり、学校に行くという習慣がある国であれば、習熟は早いのですが、そもそも学校に行くという概念が弱い国においては、話すことができても書くことができないという様に、また、本人のポテンシャルや様々な要因がからみあって、習熟状況には差が生じてきます。

○市長

本田委員におたずねですが、外国人のお子さんが患者として病院に来る事例はありますか。

○本田委員

最近、患者の多国籍化を感じているところです。英語がある程度通じる方であれば、会話が可能ですが、英語以外の言語は翻訳機に頼っています。

また、中津市の場合は地域医療対策課の方がすごく熱心に対応してくださり、予防接種の問診票なども、色々な言語で作る予定だそうです。母子手帳においても母国語の言語に対応しており、また、英訳も付いているので助かってます。

○市長

教育現場に関して、日本語指導員についてもう少し詳しく教えてください。

○学校教育課長

日本語指導員は外国人の子供たちに日本語を教えており、絵を使ったりして工夫した指導を行っています。同じ学校に複数の児童がおればいいのですが、いくつかの学校を掛け持ちしている事例もあります。できうる限りの人材で対応しています。なお、日本語指導員は教員免許所持を必須としています。

○中山委員

今後、ますます外国人のこどもたちが増えることを考えると、指導員どおしの情報交換会や研修など横のつながりが大事になってくるかと思えます。今後も教育委員会においては、教員の確保が困難だと思えますが、日本語指導員の確保もよろしく願います。

○市長

教育現場以外の大人の外国人に関して、市役所の手続きやごみ捨てなど生活全般において、市からの情報発信等はいかがですか。

○総合教育課長

市役所の窓口対応としては職員がやさしい日本語で、さらには翻訳機を交えて対応しています。また、外国語のゴミカレンダーを作成したり、市のホームページの多言語化、市報の翻訳アプリを活用した情報発信を行っています。さらには外国人技能実習生を対象とした市内の体験ツアーなども実施しています。

○市長

皆様からのご意見をもとに、今後、市においても外国人の相談窓口の設置を考えているところであり、また、教育現場の日本語指導員の確保にも力を注いでいきたいと考えています。

○市長

それでは、次の議題の「ICT教育の現状と今後の課題について」、関係部署からの説明をお願いします。

○学校教育課長

学校教育課です。次に、「ICT教育の現状と今後の課題について」、ご説明いたします。

以降、ICT活用教育の現状、ICT活用教育の課題について説明。

○市長

ただいま事務局より、「ICT教育の現状と今後の課題について」の説明がありました。それでは、委員の皆様、ご意見等ありませんか。

○横松委員

子どもたちがタブレットを持ち帰って使用する場合、各家庭でのWifiの状況はどんな感じですか。

○学校教育課長

今年度当初の状況で、約5%程度の家庭でまだWifi環境が整っていないという状況です。ギガスクール構想がスタートした時点では10%程度が未整備だったので、徐々にWifi環境が整っていると感じています。

○中山委員

中津市は大分県のなかでも、先駆けてICT教育に取り組んでくださり感謝しております。子供たちに着実に成果がでてると感じています。しかし、よく学校のそばを車で通るたびに、夜遅くまで電気がついているものですから、先生たちも忙しすぎて、心も体も疲弊しているのではないかと心配しています。どうか健康に留意していただきたいと感じています。

○市長

中津市では令和3年度をデジタル元年と位置付け、市民の皆様が役所に行かなくていいように、さらには書類を書かなくてもいいような手続きを目指しています。また、若手職員のアイデアを活かして、役所全体の機運を高めて取り組みを進めているところです。業者に頼らず、できるだけ、自分たちで考え、いかに仕事を減らしていくかを前向きに考えているところです。

○本田委員

ICT支援員やGIGAスクールサポーターは何人ぐらいで、どんなことをやっているのか教えてください。

○学校教育課長

GIGAスクールサポーターは4名、ICT支援員は委託の形で7人役で対応しています。ICT支援員は学校からの要望に応じて授業支援や研修支援に対応

しており、また、GIGA スクールサポーターは学校の端末の管理、子供たちの端末が壊れた際の代替機の対応、それぞれのアプリケーションを使う際のアカウ  
ントの管理、進級に伴う更新作業などを行っています。

#### ○久恒委員

子供たちがゲームにのめりこんで困っているという、お母さんたちの心配の  
声を聴きますが、子供たちが持ち帰っているタブレットは制限等がきちんとか  
かっていますか。

#### ○学校教育課長

教育にそぐわないようなサイトにはアクセスできないように、フィルタリン  
グソフトを入れています。よって家のWifiにつないでもゲームのダウンロード  
ができないように制限を設けています。とは言うものの使い方のルールに関し  
ては毎年、家庭でも考えていただくように啓発等を行っているところです。何よ  
りも健康を害さないように、さらにはネットモラルにも配慮できるような指導  
を行っていきたいと考えています。

#### ○横松委員

教える先生によって、授業での活用頻度が多かったり、少なかったり、活用内  
容にも差があると思う。そうした先生たちの改善策はありますか。

#### ○学校教育課長

先生の習熟度、技術度にも差があり、個人差があるのが現状です。そもそもパ  
ソコンの得意・不得意な先生がいるため、先生たちの研修を行ったり、指導用の  
動画を準備して、いつでも閲覧できるように準備しています。

#### ○市長

今後、市としても、学校現場においての教育の均等が保てるように、時代の遅  
れをとらないように、予算の確保等に努めていきたいと考えています。そして、  
将来、子供たちが、中津でこうしたICT教育を受けれてよかったと思えてもら  
えるように、学校現場、教育体制をしっかりと整えてもらいたいと思います。

#### ○市長

それでは、次の項目のその他についてです。  
「耶馬溪B&G海洋センター（やばすぽ）の改修について」事務局より説明を  
お願いします。

#### ○耶馬溪支所地域振興課長

耶馬溪B&G海洋センター（やばすぽ）の改修について、海洋センターの現状、

改修内容、改修後の実施事業等について説明。

○市長

それでは、委員の皆様、ご意見等ありませんか。

○中山委員

水上スキーは耶馬溪の中津市の宝だと感じています。今後、大いに宣伝して発信力を高めていてもらいたいと思います。

○市長

ありがとうございました。その他、事務局何かございますか。

○事務局

特にございません。

○市長

委員の皆様からはございませんか。

ないようでしたら、以上で協議・調整事項を終了いたします。ご協力有難うございました。進行を事務局にお返し致します。

○司会

長時間にわたりありがとうございました。以上をもちまして令和4年度中津市総合教育会議を終了いたします。皆様、お疲れ様でした。

(15:55終了)

市長及び委員等の発言内容については、重複した言葉づかい等を簡潔に整理した上、議事録としています。